

平成 2 5 年度
行政政策推進上課題解決を早急に図る必要性の高い課題
(行政課題) について

農林水産省において、行政政策推進上の課題について、その解決を早急に図る必要性の高い課題（行政課題）を以下に示します。

なお、記載している行政課題については、審査の一基準として扱うものであり、採択を約するものではありません。

大臣官房環境政策課

- 化石燃料への依存度が低い農林水産生産システムの実現
- 農林水産分野における非エネルギー起源温室効果ガスの排出削減
- 日本の温暖化ガス排出抑制技術の海外農村における普及

消費・安全局

- より効率的に汚染土壌の修復を可能にするカドミウム高吸収稲品種(植物浄化技術)の開発
- 病虫害防除による標的外生物への悪影響の低減技術の開発
- 海外の飼料生産に使用される農薬に対する分析法の確立
- 土壌病虫害等の防除を効果的かつ効率的に行うための診断技術等の開発
- 地域特産作物等をグループ化して農薬登録するための作物残留値予測手法等の開発
- 化学合成農薬の使用の削減に伴い被害の拡大が新たに問題となっている病虫害の管理技術の開発
- 薬剤抵抗性病虫害の発生に対応した管理技術の体系化
- 低海拔地帯などにおける殺処分家畜の埋却方法の確立
- 消化器病や代謝病等生産病の早期発見・発生予防のための飼養衛生管理技術の開発
- 家畜生産現場における食中毒原因菌、病原微生物の侵入防止・低減技術等の開発
- 生産段階における経済的被害の大きい慢性家畜伝染性疾病の感染拡大防止技術の開発

食料産業局

- 医食農連携による健康維持・増進のための技術開発
- 食品の安全性向上のための分析技術開発
- 国産農産物の高付加価値化のための情報付与技術の開発
- 地域農林水産物を活かした新需要創出のための食品加工技術の高度化
- バイオインフォマティクスを活用した生物機能の解析とその利用技術の開発
- 食品加工・流通における省エネルギー、環境負荷の軽減技術の開発
- 植物工場の高度利用による高品質・高機能野菜等の生産技術の開発
- 我が国育成品種の品種識別技術及び産地判別技術の開発
- 我が国の野菜等における病害抵抗性品種の開発

- 温暖化等の環境変化に対応した新品種の開発
- 輸出促進に資する低コストで効率的な病虫害防除技術の開発
- 海外向けの長距離輸送における低コストでの生鮮食品の鮮度保持技術の開発・改良
- 食品廃棄物由来のメタン発酵消化液の農地への有効利用技術の開発

生産局

- 地域資源を活用した品種開発
- 生産現場に対応する農林水産業用の機械・装置の開発
- 食料自給率向上を目指した豆類優良品種の育成
- 国産の加工・業務用野菜の供給力の強化のための技術開発
- 異常気象に対応した野菜の安定生産技術の開発
- 国産野菜の端境期における安定生産技術の開発
- 規模拡大に向けた露地野菜の安定生産技術の開発
- 多様なニーズに的確に対応できる果樹生産体制の確立
- 果樹生産における気候変動適応技術の開発
- 果樹生産基盤の脆弱化解消のための支援
- 果樹の輸出促進に向けた技術開発
- 食の多様化・簡便化や健康志向に対応可能な技術開発
- 国産果実の新たな健康機能性成分等の解明や果実摂取支援技術の開発を通じた需要開拓
- 花きの低コスト生産技術の確立
- 花き生産における高温・低温対策技術の確立
- 花きの鮮度保持及び長時間輸送に関する技術や輸出促進
- 養液栽培に適した品種の選抜、育成
- 夏季の施設内暑熱対策
- 園芸施設の設置コスト低減
- 省エネ・脱石油などによる次世代型施設園芸技術の開発
- 国内での在来種マルハナバチの実用化
- 食の多様化・簡便化や健康志向に対応した国産野菜の需要開拓のための技術開発
- 地域作物の病虫害防除技術及び耐虫性等に優れた安定多収品種の開発
- 地域作物の安定生産に資する低コスト化・省力化技術の開発
- 地域作物の輪作体系・複合経営の確立
- 地域作物の需要拡大に資する品種・用途・加工法・貯蔵法等の開発
- 農業生産工程管理（GAP）の推進に資する技術の評価、農作業リスクアセスメント手法、導入モデル・手法の開発

- 大規模経営体の生産性向上のための、情報通信技術を活用した効率的なほ場間移動、作業動線、作業効率の把握・分析手法の開発
- リビングマルチ等を利用した主な地域別、露地畑作物別の省力・低コスト生産技術の開発
- 野生鳥獣への放射性セシウムの移行制御技術の開発
- 野生鳥獣の個体数制御・抑制技術及び被害防止技術の開発
- 捕獲鳥獣の効率的な処分技術や新規用途の開発
- 野生鳥獣による被害状況の把握手法の開発
- 土壌汚染対策に対応したイネ品種の育成
- 地域の多様性及び地球温暖化に配慮した土壌管理技術の開発
- 耕種農家のニーズに即した堆肥づくりの支援
- 耕畜連携を通じた堆肥の利用の促進と流通の円滑化
- 家畜排せつ物のエネルギー利用
- 畜産経営に伴う排水・悪臭対策
- 家畜排せつ物由来の温室効果ガスの排出削減
- 自給飼料の広域流通促進のための低コスト調整・保管・流通技術の開発
- 自給飼料の低コスト・多収生産のための作付・利用体系技術の開発
- トウモロコシ等高 TDN 飼料作物の病害の影響の低減
- 効果的に生産性向上を図るための牧草地、放牧地の草地更新技術、草地管理技術、改修技術等の管理技術の開発
- 蜜蜂の病虫害防除被害低減技術の開発
- 性判別精液の効率的生産技術の開発
- 和牛肉の「おいしさ」に係る新たな改良形質の開発
- 安全性の高い国産牛肉を供給する技術体系の確立
- 多様な国産牛肉の生産を促進する技術開発

経営局

- 農業経営の発展に資する情報技術の新たな活用方法の開発

農村振興局

- ため池の防災・減災対策に係る高度化技術に関する研究
- 農村における未利用エネルギーの活用
- 農業用パイプライン施設の管路更正工法における設計・施工管理手法の開発
- 農業用パイプライン施設に係る漏水調査技術の適用性評価に関する研究

林野庁

- 持続可能な林業経営システムの確立
- 木竹炭、木竹酢液の需要拡大
- 特用林産物の安全性確保対策（東日本大震災からの復興に向けた取組）
- 木竹炭による放射性物質の吸着効果と処理方法の検証
- ヒノキなど国産材を活用した居住環境に関する科学的検証
- 森林に由来する物質の森・川・海のつながりにおける時間軸に沿った挙動の解明
- 将来の森林吸収量算定に向けた、多様な森林づくりに対応可能な成長予測手法の開発
- 森林施業と森林の有する多面的機能の発揮に関する科学的検証
- 間伐等森林施業の実施による林地崩壊防止効果についての調査・研究
- 侵入竹の効果的な除去手法
- 間伐における搬出材積の確認方法の確立
- 主伐後の再造林に係る低コスト手法の確立
- 伐り捨てられた伐採木が周辺環境に与える影響評価
- 丈夫で簡易な路網の作設
- 木質バイオマスの収集・運搬技術及び利用・変換技術の開発
- 鳥獣害から森林を守る低コストで効果的な防除技術の開発
- 津波被害を受けた海岸防災林の復興に不可欠な苗木の供給力向上のための技術開発
- 地域の地形・気候条件に対応した低コスト育苗・育林技術の開発
- 花粉症対策に資する花粉症対策スギ・ヒノキ品種の作出
- 短期間で効果を発揮する花粉症被害低減技術の開発
- 長伐期化に対応した大径材や長尺材の搬出・加工技術の開発
- 新たな木材利用を創出する木材の用途開発
- 環境、居住性に配慮した新たな木質材料の開発
- 木質バイオマス発電に対応した持続可能な森林資源の育成・利用技術の開発
- 特用林産物の低コスト生産技術の開発及び新たな需要の開発
- 栽培きのこの低コスト・低環境負荷の栽培・害虫防除技術の開発
- 医薬原料となる機能性成分を有する樹木の探索及び有望樹種の早期増産技術の開発
- 木質バイオマス燃焼灰と有機性廃棄物の融合による理想的有機肥料の開発

水産庁

- 魚類資源管理に必要な生態特性に応じた資源量予測技術と新たな漁業管理手法の開発
- 局所的環境変動や疾病・有害生物による魚介類の漁業被害回避のための環境変動予測、被害低減技術の開発
- 生物多様性の保全と海洋環境修復技術の開発
- 魚介類の増養殖の高度化に必要な技術開発と新規養殖種の導入による経営の多角化に関する技術開発
- 地域水産資源の高品質化と品質の安定，ブランド化，機能性の解明等による流通システムの確立
- 災害に強い水産基盤等の整備手法の開発
- 安全・安心な漁村社会形成に向けた水産基盤施設の維持更新技術の開発
- 操業の効率化に有効な漁場探索技術の開発と情報共有ネットワークの開発
- 低コスト、高品質の養殖用餌料の開発
- 漁船の安全性を高める技術開発
- 震災後の東北海域における資源管理技術及び増養殖技術の開発

農林水産技術会議事務局

- 高齢者の健康維持や障害者の機能回復に寄与する農作業システムにかかる研究開発
- 生活習慣病の予防に寄与する食品・飲料の開発及び海外展開
- 種苗、農薬、農業機械等の産業融合による植物ワクチン接種苗等の画期的種苗開発及び簡易迅速判別システムの開発並びに海外展開
- 実需者ニーズ、消費者ニーズに対応した優れた特性を有する品種の開発及び市場展開

以上